

# 財政状況のお知らせ

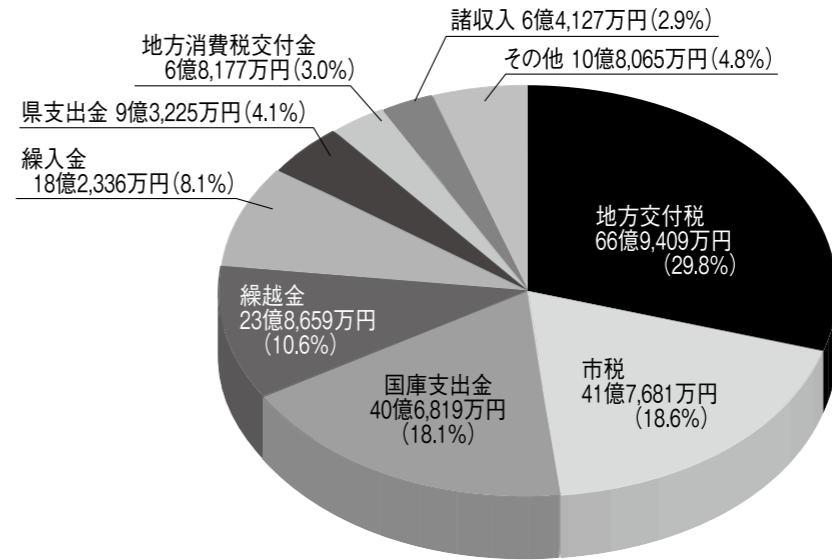
市では、皆さんから納めていただいた税金や、国から配分されるお金をやり繰りし、平成30年度も台風10号からの災害復旧や駅前整備事業をはじめとする各種事業を進めました。3月31日現在でまとめた平成30年度の財政状況のあらましをお知らせします。※金額は1万円未満を四捨五入しています

固財政課 ☎5212113

## 一般会計歳入

■予算額 285億7,095万円

3月31日現在、収入済額  
224億8,498万円  
(執行率 78.7%)



# 歳入

## 特別会計

■ 予算額 66億3,197万円

会計名	収入済額	支出済額
土地取得事業	10万円	10万円
国保(事業勘定)	34億3,927万円	39億6,461万円
国保(直診勘定)	7,186万円	1億4,912万円
後期高齢者医療	3億2,139万円	2億9,832万円
魚市場事業	741万円	1,508万円
漁業集落排水事業	3億982万円	2億6,795万円
公共下水道事業	12億1,972万円	10億8,421万円
合計(予算の執行率)	53億6,957万円 (81.0%)	57億7,939万円 (87.1%)

## 公営企業会計

■ 会計名 水道事業会計

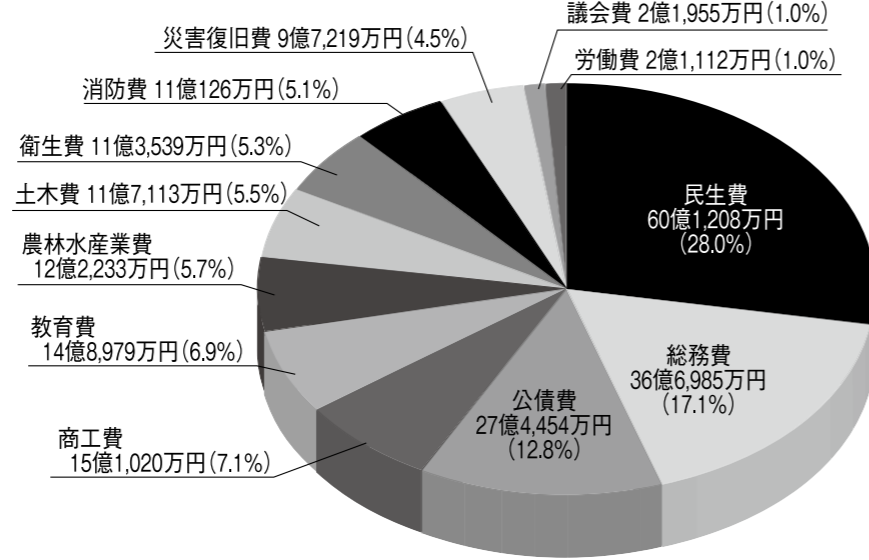
区分	収入額	支出額
収益的収支	8億2,637万円	9億1,256万円
資本的収支	8億8,462万円	13億5,452万円



## 一般会計歳出

■予算額 285億7,095万円

3月31日現在、支出済額  
214億5,943万円  
(執行率 75.1%)



# 歳出

### 市の会計は3種類

市の財政は、基本となる「一般会計」と、特定の事業や収入・支出を一般会計と区別して処理する「特別会計」、事業で得られる収入で経費をまかなう独立採算制を原則とした「公営企業会計」の3種類の会計で成り立っています。これらの会計は、4月から翌年3月までの期間で一区切り。5月末までに収入と支出を整理し、最終的な決算額をまとめます。

3月31日現在でまとめた平成30年度の財政状況はグラフと表のとおりです。予算に対する進み具合を表したものが執行率になります。

### 一般会計は46億減

はじめに一般会計の最終予算額は、285億7095万円(平成29年度からの繰越分を含む)。台風10号被害の災害復旧費などが減額したことにより、平成29年度の332億3621万円と比べ、46億6526万円の減になりました。最終予算額に対する執行率

は、歳入が78.7%、歳出が75.1%です。

次に特別会計です。市には国民健康保険や公共下水道などの特別会計があり、合計の予算額は66億3197万円、平成29年度の73億8125万円に比べて7億4928万円の減。執行率は収入が81.0%、支出が87.1%となっています。

最後は公営企業会計。市では、水道事業会計がこれにあたります。水道料金を主な収入として、水道水を作ったり、水道施設を維持管理するための収益的収支(消費税を含む)は収入額が8億2637万円、支出額は9億1256万円となっています。

### 復旧・発展に活用

市では大切なお金を有効に活用し、台風10号被害からの災害復旧や駅前整備事業などの重要施策や子育て環境の充実、健康づくり、地域づくりなどのまちの発展・飛躍に向けて、本年度も全力で各種事業を進めていきます。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

## 財服用語の説明

表に出てくる分かりづらい主な用語を説明します。

### 【収入の関係】

- ▶地方交付税…人口や環境などの違いで生まれる地方間の格差を調整するために国から配分されるお金です。国が徴収する所得税や法人税などがもとになっています
- ▶国庫(県)支出金…国(県)が、市に対して交付する補助金など
- ▶繰越金…会計年度が終了し、翌年度に持ち越され、歳入に計上された余剰金

### 【支出の関係】

- ▶民生費…福祉や子育てを支援するために使うお金
- ▶総務費…企画調整事務、庁舎や財産の維持管理、戸籍管理、税金の徴収など市の運営全般に使うお金
- ▶公債費…市の借金返済などに使うお金
- ▶商工費…商工業や観光を促進するために使うお金
- ▶教育費…学校や生涯学習、スポーツなどを推進するために使うお金
- ▶農林水産業費…農林水産業の振興などに使うお金
- ▶土木費…道路や公園などの整備や補修に使うお金
- ▶衛生費…環境の保全や健康を増進するためなどに使うお金
- ▶消防費…消防や災害対策などのために使うお金
- ▶災害復旧費…災害によって被害を受けた施設や道路などを復旧するためのお金